

わかあゆ

平成31年度 年間号 ～天狗さん特集～

令和2年2月発行
清沢こども園

清沢こども園に代々伝わる天狗伝説。今年度も天狗さんは子どもたちをずっと見守っていてくれました。天狗さんを通した一年間の活動を振り返ってみたいと思います。

～天狗さんからの手紙～

4月「ひとつ大きくなったな、好きな事を見つけるんだぞ」という手紙を受け取った子どもたち。いつも天狗さんが見守ってくれていることを信じ、それをパワーにしてプールや運動会など色々な事を頑張ってきました。節目に届く天狗さんからの手紙にはみんなを励ます言葉だけではなく、時には厳しい言葉もあり、そんな時は自分たちに何が足りないのか考えるきっかけにもなりました。『できる』ことが重要ではなくて、取り組みの中で、友だちとの関わりや一人一人の頑張りを大切に考え、見守ってくれています。



～地域散策～

天狗さんへの思いがふくらむと「天狗さんを探しに行こう!」と子どもたちから言葉が出て計画します。地域には三十三観音、雷石などの民話にもなっている名所や県の天然記念物の大銀杏があり、天狗探しを通して清沢地区の事を知るきっかけになります。毎年同じ場所に出かけていても、一つずつ大きくなるごとに新しい発見をしたり、年長組は年下児に道案内をしたりと経験が繋がっていること、それが深い学びへと広がっていくのを感じます。地域散策を通して季節の変化を感じ、小動物探しや木の実拾いなども楽しみ、それが色々な他の遊びにも広がりました。

～天狗さんとの出会い～

冬のある日、園の隣の神社へいくと、なんと天狗さんがいるではありませんか。

「天狗さんにいつか会ってみたい」という思いで天狗探しをしたり、苦手な事に取り組んできた年中組は、天狗さんが本当にいた喜びと驚きでいっぱいの出会いとなりました。友達と協力しながら活動に取り組む大切さはわかっているけど、意見がぶつかってなかなかうまくいかずにいた年長組は恐る恐る…でも、きちんと自分の気持ちを伝えようと一人ずつ会ってきました。天狗さんは全員の話をしっかり聞いてくれ、それぞれに励ましや勇気が出る言葉をかけてくれました。そして年中・年長さん全員がパワーの入ったお守りをもらうことができました。これから大変な時にも、そのお守りやこの出会いが子どもたちの心の拠り所となり、意欲的に取り組むきっかけになってくれると思います。そんな年長・年中組の様子を1年間見てきた年少組も来年度は天狗さんに会えることでしょう。こうやって大切に受け継がれている活動を職員みんなでもこれからも大切につなげていきたいと思っています。小学校へ行って、そして大人になってもこの天狗さんを通した経験が力になっていくことを願っています。

